

生活創造しんぶん第14号

平成16年11月

編集・発行

県立姫路生活科学センター内
生活創造応援隊

～美味しく楽しい食卓をみんなで～

男子厨房に入らずの言葉はもう時代おくれですよ～(^o^)ノ～

昨年から神崎町いずみ会の主催で健康課の栄養士さんの助言を受けて、「**男性の料理教室**」が行われています。参加者は約25名平均年齢60歳台?・・・(^_^)

もう5回目ともなると参加者も手馴れたもので、ジャガイモの皮むきや、食材を調理する包丁さばきは女性顔負けの手際の良さです。

今回のメニューは“孫に食べさせたいおじいちゃんの味!”のリクエストで「**エビフライカレー**」「**白菜と春菊のシャキシャキサラダ**」です。

いずみ会の皆さんの調理指導は、助言はされますがなるべく手は出さず、にっこり笑顔で見守っておられます。

美味しそうなカレーの香りが調理室いっぱいにあふれ、男性陣も楽しくおしゃべりをしながら和気あいあいの笑顔に包まれていました。

手づくりの野菜をふんだんに使い、愛情がたっぷりこもったカレーを家族や孫たちのために作る・・・三世代家族の温かい場面が思い浮かび、おじいちゃんの大活躍が嬉しくなるのではと微笑ましい気持ちになりました。

男女共同参画がうたわれる今日、毎日の生活の中で欠かせない食生活を女性だけが忙しく台所に立つのではなく、どんな些細な事でもいいから、少し手を貸してもらえれば嬉しいものです。

食事作りを通じて自然に交わす会話で、家庭もより一層温かくなるのでは・・・

次回は男性が材料の買物もして、畑の自慢の大根を使って“おでん”作りだとお聞きしました。お楽しみに～(^_~)v

(応援隊 竹國 とみ子)



～環境セミナーを受講して～

主人の転勤で全国各地に住みましたが、環境についてのセミナーの受講は初めてでした。

今年は超大型の台風が次々と上陸し、豪雨、暴雨風雨に見舞われました。私たちの育った頃に比べて、豊かで、便利な生活を謳歌しながらも、近年の異常気象を身近に感じることも多かった様に思います。

環境セミナーではそれぞれの講師の方が、現代の生活が、いかに大量のCO₂(二酸化炭素)を排出して、そのことが地球温暖化の大きな原因の1つだと、分かりやすく例を出して、熱く語って下さいました。受講生のみんなは、私たち1人ひとりが**省エネルギー、省資源、ごみの減量化**に努め、先ず家庭からのCO₂削減に努力しなければ、と切に感じられたと思います。

省エネルギー生活では、

- ① 電灯、テレビのつけっぱなしを、やめよう。
- ② 冷房は28度、暖房は20度を心がける。
- ③ 冷蔵庫の詰め過ぎ、扉の開閉を少なくする。
- ④ 風呂は続いて入浴、残り湯は洗濯などに活用。
- ⑤ シャワーは流しっぱなしにしない。
- ⑥ 洗濯はまとめ洗い、洗剤は適量使用をする。
- ⑦ 近いところは歩いて行く。
- ⑧ アイドリングをせず、エコドライブに徹する。



ごみの減量化生活には、

- ① マイバッグ(買い物袋)を持って行く。
- ② 必要なものを、必要な量だけ買う。
- ③ 食品は旬の地元で取れたものを買う。
- ④ 過剰包装のものはできるだけ避ける。
- ⑤ 詰め替えのできるものを買う。
- ⑥ 環境に配慮した店やメーカーの品を買う。

等々、未だたくさん実行出来る事があります。



とにかく、私たちが毎日の暮らしの中で、気をつけるだけでも、地球温暖化を少しでも、くい止めることができることは、間違いのないと思いました。

このようなことを書くと、このセミナーでは、これからとても厳しく、心配なことばかりのお話を、聞いたように思われるでしょう。

しかし、化石燃料、原子力によるエネルギーの代わりに、風力発電、ソーラ発電、バイオによるエネルギー活用など、あちこちの町でとり組まれているそうです。私たちが、目先のことだけを考えないで、子孫にこれ以上悪い地球環境にしてはいけないと思いました。これから、あらゆる機会に、伝えていかなければと考えさせられました。

来年度は消費生活セミナーを開催されると伺い、素晴らしい講師との出会いを楽しみに、また受講したいと思ってます。

(応援隊 大江 督子)

～資源をどうか大切に！～

昔は物を大切にすることが当たり前で、壊れた物は修理して大事に使ってきました。

しかし現在では消費は美德ようになって、みんなが贅沢にのめり込んでしまっているように思います。まだまだ修理して再利用できるものが家庭の中にたくさんあります。

そこで私たちは微力ながら、なにかひとつでも捨てずにもう一度生まれ変わらせることはできないか？を考え「もったいない倶楽部」を立ち上げようと思いました。



もったいないとは辞書にはこう書いてありました…① 恐れ多い。恐縮である。② 身分にふさわしくない。③ 使わずにおいたり、捨ててしまったり、無駄に使うのが惜しい。『もったいない倶楽部』は③の目的で活動していきます。

みんなの**知力、活力、体力、気力**そして**心力**にもの言わせて、楽しみながら持続可能な循環型社会を築くことを目標とし、少し時間はかかるけれど、^{エン}ジョイから縁ジョイ生活に変えて、^{エン}ジョイ(楽

しみながら)活動の輪を広げようと夢をふくらませています。

毎月第2第4火曜日の午前9時～午後4時頃まで神崎郡神崎町福本にある中播北部クリーンセンターの再生棟のひと部屋に倶楽部員が集まって再利用に知恵を結集させ、作品作りにがんばっています。初回は余り布で子どもや孫にと思いをこめて「布ぞうり」を作成し、今はタンスに眠っていた着物を利用して「**作務衣**」作りにとりかかっています。

色あせして着なくなったTシャツも子どもや孫達の遊び着に、帯はバッグや袋物にとっても素敵に再生…(^o^)

良き時代の思い出の品がおしゃれな作品になってよみがえり、もう一度手を通すのを楽しみにしています。作品も多数展示していますのでどうぞお立寄り下さい。



(もったいない倶楽部 小西 英美)



夢前の町どころ 童謡：「夢トントン」

1日で兵庫県下を縦断する事ができます(地理的条件による所が大)。私にとって自動車免許証の取得が、みじかい時間に広範囲な場所への移動が可能になった最大の利点と言えるのですが…。

町を抜け、山間部のけしきの映り変わりの中、期待していた“藁葺き屋根の日本家屋”の何と少ない事か！世相を反映して、生活情報過多の中「住」環境までが近代的な新建材化し、周りの風景とアンバランスで、感傷的な思いがぬぐいきれません。

幼い頃、両親の故郷、山あり、川あり、自由奔放に走り回り、よそのおじさんに叱られながら、グミの実、桑の実、ザクロの実、いちじくの実等々が取り放題で、口いっぱいにはおぼった思い出…。

農繁期になると家族総出の子沢山の家庭、そして、幼い子供の限りなく大人に近い労働力、夕食の団欒、障子、襖を隔てて聞こえる家族の兄弟姉妹の声、「この情景こそが家族の絆」でしょうね。

家族単位、学校単位、にこうした町に根ざした音楽を媒体に人間回帰を目標とし地域の伝統文化、

伝統芸能、伝統芸術の継承と新しいタイプの文化を、数百年の長い歴史の事実の歩みを通して、近代的情報生活の中に共存させようとする努力が地域の皆様方の生活感に浸透することを願いたいですね。

平成15年に公募で発表された夢前町の童謡“夢前の町どころ”「夢トントン」ピアノ・オカリナにのせて“桜ヒラヒラ♪…雲モクモク♪…雪チラチラ♪”なんと穏やかな気持ちにさせてくれることでしょう。

夢前の街のどこかでお耳にしたら、思い出してください幼い頃を…。

(応援隊 遠入宏昭)



綿摘みのご報告

生活創造しんぶん 13号で、綿の開花までをお知らせしました。9月は相次ぐ台風のために、綿にも少なからず被害がでました。すさまじい風雨の中であられる姿を只々見守るだけでした。畑をお借りしている高田さんの道具小屋は倒壊。鶏小屋も屋根が飛び被害がありました。塩害で葉が枯れ、茎も倒れ斜めになってしまいましたがそれでも負けません。

9月6日に初めて実を見つけた時には感激…。2才の愛娘まなみの握りこぶしほどの小さな実…。



摘み取った綿

ふわふわの綿に包まれ種が34個。一粒の種からいくつの実がなり、種が出来るのでしょうか。

こうして脈々と続く綿のたくましさ改めて、自然に対しての畏敬の念を感じました。10月8日の段階で摘み取った実は45個。まだ紡ぐにはいたっておりません。また肥料が足りなかったのでしょうか、密集して植えたからなのか、思ったより実が小さかったのが反省です。次回は糸紡ぎについてご報告したいと思います。

(応援隊 篠崎 まゆみ)



摘み取った綿

食文化を楽しみながら！ ～小さな催しが大きな事を成しています！

“こころ豊かなふくさを願って”『国際食文化交流の会』

国際結婚をした日本人男性が福岡に住んでみて、「地域の人とはあまり親切ではないなあ～交流の機会が乏しいなあ……」と感じました。

この事を知った当時の福岡市コミュニティ推進委員の堀さんは、さっそく国際交流の場を設けようと行動されました。

まず、協力してくださるボランティアを町の広報紙で募集したところ、

町内にある近畿福祉大のサークル「ボランティア21」の学生さんに協力を得る事ができました。次は町内在住の外国の方々への呼びかけです。働くため、研修生として学ぶため、来日の目的はいろいろですが、中国、タイ、アメリカ、ベトナム、オーストラリア等各国の方が住んでおられます。

呼びかけに賛同を得て交流の会が発足したのが平成13年10月の事でした。

第一回はお国自慢の料理をそれぞれが作り、とてもよい雰囲気でご会食をしました。



言葉が通じなくても、習慣、食文化が違っていても、微笑みでお互いの気持ちが通じ合える様子でした。以来、年に4～5回の会をもっていますが、お花見あり、ミニ観光あり、来日の歓迎会、帰国のお別れ会と、その時々に合わせてます。

「市川ふれあいフェスティバル」にカレーの販売やスタッフの弁当づくりで参加し、その収益を「交流会」の費用にあてるなど皆さんの参加費負担をできるだけ少なくしています。楽しみながら知恵を出し合っの運営です。

これらの積み重ねが大きな喜びを生みました。それは母国を遠く離れ、寮と職場しか知らなかった人が、同じ立場の人達とふれあい、「福岡市のこころ豊かな人々」と出会って、日本を知って、楽しんで、帰国後「ありがとう」の言葉をみんなの所に届けてくださいました。

食の交流だけにおわらずに「こころ豊かな国際交流」へと成長したように思われます。これは関係者の方々の多大な協力、関わった町職員の努力等々、多くの人々に支えられての歩みです。

“みなさんもぜひ、この活動にご参加を！”の思いを込めて

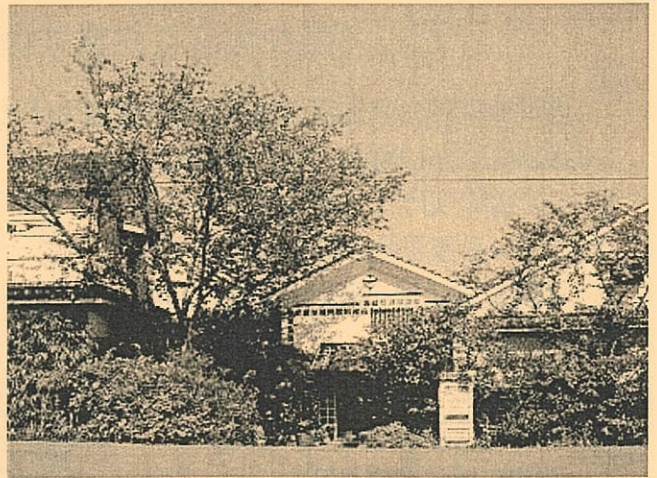
「国際食文化交流の会」の活動をお知らせいたします。

(応援隊 小國 冷子)



香寺町の名所 日本玩具博物館

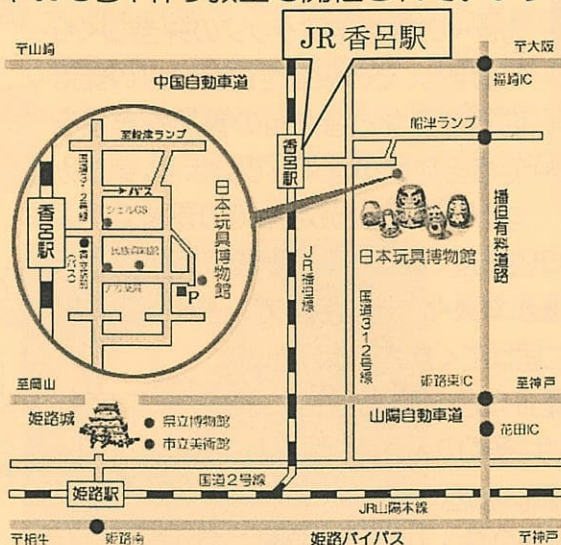
特色ある博物館が香寺町中仁野にあります。緑豊かな田園風景の中、白壁土蔵造りの展示館が建っています。1号館～6号館それぞれに、昔懐かしい郷土玩具、駄菓子屋のおもちゃ、近代玩具、各地の凧やこま、手まり、雛人形、ちりめん細工、祭りの玩具、世界の船、音の出る玩具、世界のクリスマス玩具など、世界各地145ヶ国から井上館長が収集された8万点余りの資料が所蔵されています。



館内には観て楽しむだけでなく、触って遊べるコーナーもあり、親御さん達にもひととき童心にもどれる貴重な空間だと思います。

常設展示のほか季節毎の企画展もあり、今は1号館で秋の企画展『世界の笛・形と音色』6号館で秋冬の特別展『世界のクリスマス』が開催されています。

また、子どもたちが安心して学び、心安らぐ空間を作るために今年度から文部科学省がすすめている委託事業「地域子ども教室」の一環として、日曜・祝日毎に楽しい演奏会やおもちゃ作り教室も開催されています。



《展示などのお問い合わせは》
日本玩具博物館

毎週水曜日休館(祝日及び春休み・夏休みは開館)

どうか香寺町にお越しくださいね(^o^)

(応援隊 松尾 秋子・大野 律子)



～あいめっせフェスティバル 2004～

～男女に住みよい 社会をめざし 夢いっぱい みんなでつくろう 虹のまち～

フェスティバルでは、11月20日9:40から城西小学校のマーチングバンドがオープニングセレモニーをいそどり、21日には人材育成コンサルタント^{しんすこ} 淑玉さんを講師にお迎えし、講演会「**あなたがもっと輝くために～『自分らしさ』へ～**」(要申し込み)も開催されます。2日間様々な講座、料理教室、ミュージカルから喫茶コーナーまで、

男女共同参画推進センター所属の活動グループの企画による催しがあります。

クイズラリーや絵画などの展示もあり、子どもから大人まで楽しめます。

また、一時保育(1歳半～就学前)もありますので子育て中の皆さんもぜひお越し下さいね!!

11月20日13:30から **あいめっせステーション ～こんなとこで あいめっせ～「入門編」で“初司会”**をすることになった(> <)・・・(応援隊 三木 尚美)

☆ お問い合わせ・お申し込み先 ☆

姫路市男女共同参画推進センター

私達のグループ『**姫路消費生活研究会**』では、食の安全安心を願い、地産地消に賛同しております。また最近の産地偽装問題、遺伝子組み換え作物の流通、残留農薬問題等に不信感を持っております。そこで、これらの問題に賢く対応していくために「**食の環境**」を考えるをテーマに姫路生活科学センターの後援で地域市民塾を開きます

来る11月20日21日姫路城南側イーグレ姫路で開催される**あいめっせフェスティバル 2004**に合わせ、神戸女子大学教授(元姫路生活科学センター所長) 藤井 昭子氏をお招きし「**食と環境、そして健やかな暮らしをもとめて**」をお話して頂き、私達は何をすべきかを共に考えようと思えます。どうぞ皆様のご参加をお待ちしております。

(応援隊 小林 美波子)

日 時 平成16年11月20日(土)10:00～12:00

場 所 イーグレ姫路4階 第1第2会議室

お問合せ先 姫路消費生活研究会 木村 利恵子

〃

小林 美波子

“花の好きな人” 集まれ～! エル・ビレッジおおかわち グリーンハウス

神崎郡大河内町のエル・ビレッジおおかわち グリーンハウスにおいて寄せ植えのアドバイスが無料で受けられるイベントがあります。

- ◎ ご家庭のポット・プランターをご持参ください。
- ◎ ガーデニング工房培養土・鉢底石等無料サービス(花のみ実費)
- ◎ スタッフの方が親切に教えて下さいます。

秋の“花 hana マーケット” のお知らせ

期 間 11月3日(水)祝日～11月7日(日)

各 日 10:00～17:00

お問合せ先 エル・ビレッジおおかわち グリーンハウス

月曜定休日(祝日の場合は翌平日がお休み)

☆ 4～5人以上で来られる場合はご予約下さいとのことです。

また大河内町の観光スポット・楽しみ方をお知らせしま～す(^_^)v

(応援隊 田中 路子)

—2004—

西播磨生活創造大会

国際化の進展は私達の食卓を大変豊かにしましたが、反面、近年、食肉や生鮮野菜などの産地偽装表示、牛肉のBSEや鳥インフルエンザの問題など大きな社会問題が続出し、消費者の食に対する安全・安心や事業者への信頼に疑念が生じてきています。また、食料自給率は現在、カロリーベースで40%先進国のなかで最低という大きな課題も不安の一つです。

そこで、消費者、生産者、販売事業者が一堂に会し、それぞれの立場で意見を交換しながら「食の安全・安心」について考えます。

日 時 平成16年12月3日(金)13:30~16:00

場 所 イーグレひめじ 3階 あいめっせホール
姫路市本町68-290

講 演 「食の安全・安心を求めて」

講 師 神戸大学名誉教授 兵庫農漁村社会研究所代表
保田 茂 氏

★ 開 会 式

★ 記念講演

★ 調査発表

★ パネルディスカッション

西播磨消費者団体連絡協議会 研究班

(コーディネーター) 保田 茂 氏

(パネリスト)

◇ 生産者団体等

JA兵庫西

有機農業研究会(有機農産物生産者)

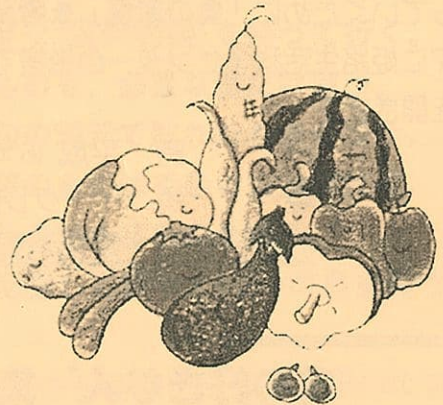
◇ 流通・販売事業者団体

(社)日本チエンストア協会[マックスバリュ(株)]

姫路大同青果(株)[姫路中央卸売市場]

◇ 消費者団体

西播磨消費者団体連絡協議会 代表



主 催 西播磨消費者団体連絡協議会

県立姫路生活科学センター

県立西播磨生活科学センター

姫 路 市

(社団法人)家庭電気文化会

☆ 生活創造大会のお問合せ先 ☆

県立姫路生活科学センター

中播磨地域でがんばっているグループ
がんばっている人・いい話を

生活創造しんぶんの紙面でご紹介します。自薦他薦は問いません。

しんぶんについてのお便り・お問い合わせ
姫路市新在家本町1丁目1番22号
県立姫路生活科学センター 玉田